

## 県民との意見交換実施状況一覧（主な意見）

参考資料 2

※しあわせ信州創造プラン「施策の総合的展開」に沿って整理しています

会議名	日時	参加者	人数	分野※	主な意見
「楽園信州」移住者交流会 (アンケートを実施) <企画振興部>	H29.3.25	移住者など	15	産業	・引き続き住みやすく、観光がしやすい県
				地域づくり	・今と変わらぬ姿
				環境	・適度な便利さを備えつつ、自然が多く残っている
				子育て	・子どもたち、若者が多く育っていける県になってほしい
平成28年度外国人住民相談員研修会 <県民文化部>	H29.3.22	県内で外国人住民の相談員をしている方々	27	地域づくり	・多文化共生が推進ではなく実現となる社会 ・人それぞれのライフスタイルが重視される ・外国籍の子どもの居場所がある
				社会基盤	・公共交通が便利になる
				健康・福祉	・癌などの病気が不安。医療体制が整備されるとともに、医療費がかからない社会
				教育	・子どもたちにとって多様な学びの場が用意されるとともに、教育費がかからない社会
高校生との意見交換 <環境部>	H29.3.17	上伊那農業高校生	15	産業・雇用	・捨てられるものが多い。これを加工して集落の特産品にしてHPで販売したら活性化する
				地域づくり	・高齢化した地域に若い人が移住し、地域の魅力を発見・発信し、地域が活性化する ・人口が少なくても、心通じた仲間を力を合わせ、自分たちのできることをやっていく ・山が多く、空気も綺麗なので、山好きや釣り好きなどをターゲットに若者を呼び込むためのPRをする ・地域の中でそれぞれ自分が出来ることを把握し、何が出来るかを話し合っ決めて
				環境	・多くの人が環境について考え、行動する ・実際に環境保全活動をしている人のことを多くの人に知ってもらい、それが全県へ広がっていくための普及啓発が必要 ・野生鳥獣対策、森林の整備を進め、長野県の豊かな自然環境を守る
				社会基盤	・高齢者も移住者も住みやすいよう、過疎地においても上下水道、公共交通機関を整備
				子育て	・手厚い保育・教育サービスを全県に
移住者雇用促進フォーラム <諏訪地方事務所>	H29.3.16	企業、民間団体、行政機関など	50	産業・雇用	・零細企業でも取り入れられる多様な働き方のモデルケースの実証・作成 ・ダイバーシティを含め、年齢、性別を問わない職種や就業を可能とするオペレーション(ハード、ソフト両面)が確立できていればいい
				地域づくり	・住んでいる人が魅力的だと思い、都会に出た若者がかえって来る地域 ・若者が集える場所が都会より少ない。地元の高中生や大学生が集い、外から来た学生とつながる機会があると将来的に良い ・県内のよそ者の発言で改革、躍進できた事例の取り上げ・発信
				教育	・学生の中から地域の魅力を知ることが大事
				地域づくり	・それぞれの場所がそれぞれの文化、生活を大事にし、生き生きと暮らし続けることができる街 ・各地域が何かで連携するときは強力な繋がりを発揮する
松本透信濃美術館整備担当参与との意見交換(飯田会場) <県民文化部>	H29.3.14	一般県民	20	教育	・県下平等にその文化を享受できる企画がある ・子どもたちへの教育向上 ・リニアも通るので、多くの作家の展示場所や、地域の芸術文化の収集・研究の場が欲しい

会議名	日時	参加者	人数	分野※	主な意見
河川・道路アダプト活動報告会 ＜諏訪地方事務所＞	H29.3.10	アダプト活動実施団体代表者	50	産業	・観光客が遊び、楽しめる(自然に親しめる)場所づくり
				地域づくり	・住みやすい地域づくり
				環境	・自然エネルギー・EV自動車などで空気をきれいに
				社会基盤	・スイスの街並み ・人口減少に伴って生じる空き地を利用し、緑化を進める
県内大学学長と知事との意見交換 ＜県民文化部＞	H29.3.8	県内大学学長等	12	産業	・どの分野においても、まずは担い手、人材がいることが大前提で、人の育成確保は地域存続の基本。担い手のモチベーションと脱落しない取組を新しい視点として考えたい ・異業種間の交流により様々な産業に広がっていくのがキーポイント。これが第4次産業革命につながっていくと思う
				健康・福祉	・「食」と「健康」の研究所を作れないか考えている ・「健康長寿日本一」を謳っているが、それを裏付ける研究データがない。世界に発信できる研究チームを作ってほしい ・子育てや障がい者、高齢者の対応をしている人たちは激務の割に給与も安く、離職率も高い。この人たちに光を当てるべき
				教育	・都会からも近く、自然環境も豊かな長野県に有名な研究者を呼んで、「研究村」みたいなものを作ってはどうか。そういう人は様々なネットワークを持っている ・長野県を「学習県」にしたい。「学び続ける」そんな県にしていきたい ・教育は高校生、中学生、小学生と幼児になるほど効果がある。そこに投資すべき ・留学生を受け入れることにより、留学せずともコミュニケーションが取れる勉強になるはず ・県内で活躍する若者をビデオ教材にして、子どもたちに見せ、夢を与えてはどうか。貴重な経験を積んだ人の話を聞かせるようなシステムもあればいい ・空き家を留学生の受入れ先としてマッチングできないか
				子育て	・母子保健の支援を充実させることで、結婚し、子どもを産み育て、そこで生活していける魅力ある県になってほしい
				その他	・他の自治体と同じような内容ではなく、長野県ならではの「尖った計画」を立てていく必要がある
				松本透信濃美術館整備担当参与との意見交換(長野会場) ＜県民文化部＞	H29.2.24
				地域づくり	・小さな町、村にも、若い人から高齢者まで一緒に住める三、四世代がともに笑顔で暮らせる ・経済優先ではなく、文化、教育、福祉が充実した県 ・各々の市町村が独自性(町おこし、特産品、伝統品など)を持てるよう県から支援
				教育	・教育県といっても、文化芸術に対する理解が低い。もっと文化芸術が身近になってほしい ・文化芸術やローカルアーティストをもっと観光資源として使ってほしい
信州子どもカフェ推進フォーラム (事前アンケートを実施) ＜県民文化部＞	H29.2.20	NPO等各種団体、市町村職員など	117	産業・雇用	・観光資源の活用、国内外の観光客を積極的に誘致し経済的に恵まれた県 ・学生が地元に戻って就職したら返還免除の奨学金制度の創設 ・安心して働ける(特にひとり親の非正規をなくす、学生が地元に戻れる就労の場の確保)
				地域づくり	・高齢になっても安心して暮らしていける ・地域の中で多世代の人が集える場所があり、楽しく過ごし、地域ぐるみで支え合う ・高齢者と子どもが共に過ごせる居場所など共生型の居場所づくり
				教育	・いじめや不登校がなく、子どもが生き生きと笑顔で暮らしている ・学校教育の中で、全ての人が心身ともに健康であることの大切さを学ぶ ・地産地消のものを食べ、健康な心と体を作るための教育及び啓発による意識向上

会議名	日時	参加者	人数	分野※	主な意見
(信州子どもカフェ推進フォーラム)				子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが地域とのあたたかなつながりの中で、自分の居場所(食事・学習・相談等の場)で、安心して過ごすことができる</li> <li>官民協働によるシステムづくりや資金助成、人材育成など、地域コミュニティを充実させるためのバックアップが必要</li> </ul>
観光振興審議会 ＜観光部＞	H29.2.17	審議会委員	11	産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界水準は「上質」、「質の高い」という響き。世界水準というからには、インバウンドもしっかりターゲットを定めるべき</li> <li>共有型経済を意識して、人やモノの動きを観光に活かすことが必要</li> </ul>
				地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>車ではなく、人にやさしいまちづくり。歩いて楽しいまち。人との触れ合いが、人を呼び込む</li> </ul>
				健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>シニア層のセカンドライフで、「観光」を手段にできる社会を作る</li> </ul>
地域のキーパーソンとの意見交換 ＜北安曇地方事務所＞	H29.2.16	ラネージュ東館支配人	1	産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い人の住みやすい環境づくりや、通年で働ける環境が重要</li> <li>女性の視点を反映するためには、現場に追われている状況から解放することが必要</li> <li>雪に対する依存度が高い。グリーン期を充実させないと真の山岳リゾートにはなれない</li> </ul>
				地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元にしがらみのない若い人が中心になって、女性の集まりを組織化してほしい</li> </ul>
				社会基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレの改修、自転車道や歩道などの足元の整備を進めることは、女性、外国人、年配の方に優しく、お客さんと呼ぶことにつながる</li> </ul>
				子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い人が社会参画することが大事で、そのためには子どもを預けられることが第一</li> </ul>
地域のキーパーソンとの意見交換 ＜北安曇地方事務所＞	H29.2.16	(株)ポップ 常務	1	産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通じて入込を安定させるためにターゲットを絞ることが重要</li> </ul>
諏訪湖周サイクリングロード活用 検討会 ＜諏訪地方事務所＞	H29.2.16	観光事業者、 自転車愛好家、 行政機関等	100	産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光庁によれば、海外からの観光収入は日本の自動車輸出額にもほぼ並ぶ。ものづくりの信州の他、温泉、ランニング、自転車(健康づくりの旅行バック商品化とブランド化)の広域展開は重要</li> </ul>
				地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少は否めないが、自然とも共存しつつ、ゆったりと豊かに人々が暮らせる県</li> <li>信州特有、固有の産業が発達し、仕事をする場所が増え、若い人の流行が紡がれ、定住が進み、人口増加が再び見えてくる</li> <li>自然と芸術文化がマッチし、心豊かに暮らせるスローシティ的な生活が送れる</li> <li>県内の市町村すべてに活気があり、住民が「信州が好き」といえるような姿</li> <li>原風景を残して夢のあるまちに</li> <li>ずっと住みたい、いつかは帰りたい、一度は行ってみたい</li> <li>チャレンジしている個人にお金ではなく、行政とのつながりを支援</li> <li>ハードは県でも、ソフト運用は地元民で取り組むような仕組みづくり</li> <li>若者が定住しやすいように子育て、住居手当など支援制度を拡充</li> </ul>
				社会基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>10年、20年先を見たまちづくりのために、サイクリングロードだけ作ってもダメ。電動カー、セグウェイ、大学で開発している電動乗り物なども走行できるような整備</li> </ul>
				健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通の充実、タクシー代補助、買い物の代行制度など、高齢者が自動車の運転をしなくても日常生活ができる</li> </ul>

会議名	日時	参加者	人数	分野※	主な意見
第2回社会福祉審議会 ＜健康福祉部＞	H29.2.15	審議会委員	10	健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが県内どこでも安心して暮らせるように、行政は後方支援を</li> <li>・障がい者が安心して暮らせるように地域住民と行政の連携が必要</li> <li>・長野県の強みは健康長寿と豊かな自然。これを活かしたユニバーサルツーリズムで全国をリードし、人を呼び込みたい</li> <li>・地域包括ケアが目指すところを県民と共有し、地域で何が必要か県民自らが考えられるようになってほしい</li> <li>・子どもからの相談(チャイルドライン)に、民間が力を出す場を作ってほしい</li> <li>・実施した施策を大学と協力し、モニタリングし、次の施策に活かす必要がある</li> <li>・累犯や再犯の問題を抱える精神障がい者の地域移行に向けた体制づくりが必要</li> <li>・マイサポはよろず相談機能を有し、制度の縦割りの狭間でうまく機能している</li> <li>・福祉医療専門職の市町村での確保</li> <li>・人権を尊重できる専門職の育成が必要</li> <li>・児童虐待の増加により、心理職の確保など人材不足が喫緊の課題</li> <li>・介護職や保育士の人材不足解決のため、思い切った労働環境改善や処遇改善が必要</li> <li>・介護などが希望を持てる仕事だと生徒に伝えるため、教育委員会と連携を</li> <li>・スマホの弊害を啓発するため、社会全体でメディアリテラシーに対する教育が必要</li> </ul>
自転車の安全安心・利用促進施策に関する意見交換会 ＜県民文化部＞ (10所開催) H29.1.17 松本 H29.1.18 長野 H29.1.25 木曾 H29.1.27 北安曇 H29.1.30 諏訪 H29.2.7 北信 H29.2.8 上田 H29.2.10 佐久 H29.2.14 下伊那 H29.2.15 上伊那	H29.1.17 ～ H29.2.15	交通安全関係者 自転車利用者等	340	<p>産業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山間地の弱みを強みに変えた観光・産業の立地</li> <li>・農業が元気な長野県</li> <li>・若者が希望する仕事が出来、収入が確保され、子育てが安心してできる</li> <li>・食料やエネルギーなどの自給率の高い地域</li> <li>・信州の特徴を活かしたサイクルツーリズムの推進</li> <li>・長野県でしかできないスポーツを重点的に取り入れた施策展開</li> <li>・観光地の独自化と環境保全</li> </ul> <p>地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者も高齢者も心豊かに暮らせる社会</li> <li>・外国人も含め、多くの方が来訪されて交流が拡充し、安心して心豊かに生活できる</li> <li>・各世代が生きがいをもって生きられる社会</li> <li>・伝統的な信州の暮らし方が大切にされ、地域のコミュニティが活きている</li> <li>・誰もが自己実現のためにゆとりある安定した生活を送れる信州</li> <li>・美しい山並みを望むことができる美しい街、美しい里</li> <li>・恵まれた山岳高原の特性を活かし、音楽や芸術分野のイベントが活発におこなれる</li> <li>・行政が目立たない</li> <li>・仕事だけでなく、地域の繋がりや趣味、家庭等にも時間が取れる社会にする</li> <li>・コンパクトシティの促進</li> <li>・彩度、明度を抑えた色づかいについて建設業界へ指導強化など</li> </ul> <p>安全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通ルールを守る「ゆずりあいの実行」により事故が少ない</li> <li>・交通防犯関係を中心に共助できる地域の実現</li> <li>・歩行者、自転車通行者の安全・安心確保のための整備</li> <li>・県民の安全意識の改革</li> </ul>	

会議名	日時	参加者	人数	分野※	主な意見
(自転車の安全安心・利用促進 施策に関する意見交換)				社会基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通機関の充実により、特に高齢者の移動に優しい社会</li> <li>高速交通網の発展により、多くの物流・企業が集まり、長野県で生涯を過ごせる環境が整う</li> <li>リニアの開通により、南信地方が首都圏からの企業や観光客でにぎわう</li> </ul>
				健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療、福祉施策が充実し、健康長寿県としての地位を守っている</li> <li>介護保険等を利用した高齢者の延命ではなく、社会保障費が低い社会</li> <li>高齢者の足となる交通手段が充実。買い物、医者へのルートでのデマンドバス化</li> <li>介護保険の広域化</li> <li>県内どこで暮らしていても十分な医療を受けられること</li> </ul>
				教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>有形、無形文化財の保護、保持</li> </ul>
				子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの声が響く明るい信州</li> </ul>
諏訪湖クラブ、信州ネットSUWAと の懇談会 ＜環境部＞	H29.2.13	諏訪湖クラブ、 信州ネットSUWA	16	地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の住んでいる地域の歴史を知り、皆がまちなか案内人のようになれば良い</li> </ul>
				環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の多様性の保全</li> <li>昔のように、岸から諏訪湖内にどんどん入っていけるようにする</li> <li>地域を知るため、学習の場、触れ合える場、情報発信の場を作り、ハードだけではなく、組織としての機能を構築</li> </ul>
長野県の保育・育児教育のあり方 を考える研究会 ＜県民文化部＞	H29.2.8	県内保育園、幼稚園、 認定こども園の 教職員、教諭養成 校教職員、市町村 職員など	90	地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学進学で県外に行った子たちが、ふるさとに帰って働く場がたくさんある</li> <li>将来の不安がなく自らがやろうとすることができる長野県になってほしい</li> <li>自然豊かで、子どもや若者、お年寄りの生き生きとした声が聞こえる環境がある</li> <li>市町村が消滅せず、地域の伝統・文化を絶やすことなく将来につなげていく</li> <li>子どもがたくさんいる長野県</li> </ul>
				教育・子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児教育の重要性を長野県、民間、県民が共有し協働して取り組んでいく</li> <li>信州の教育を幼児教育の中にしっかり取り入れた特色ある教育を幼保一環としてプログラムを考える</li> <li>幼児教育から高等学校教育まで教育無償化をする</li> </ul>
ライフスタイルデザイン国際会議 (パネルディスカッション) ＜企画振興部＞	H29.2.5	多様なライフスタイル を実践する県内 在住者、県外有識 者	9	産業・雇用	<ul style="list-style-type: none"> <li>働きながら暮らす(産業革命以前の暮らしのかたち)</li> <li>働き方だけ考えていてもダメ。暮らし方とセットで</li> <li>女性が働きやすい職場を増やす</li> </ul>
				地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>今を楽しく生きていれば「足りている」と感じられる</li> <li>足元にある価値に光をあて、活かせる県に</li> <li>当たり前のものをどう組み合わせるかに喜ばれるものにするか</li> <li>「違い」を意識した取り組み</li> <li>サステイナブルな社会への転換</li> <li>必要なものを自分たちで生み出し、助け合う(自立と自治)</li> <li>ライフスタイルを変えることは個の問題ではなく、社会のシステムを変える原動力</li> </ul>

会議名	日時	参加者	人数	分野※	主な意見
「楽園信州」移住者交流会 (アンケートを実施) <企画振興部>	H29.2.4	移住者など	19	産業・雇用	・国際的な観光県になってほしい
				地域づくり	・若い人が多い県になってほしい ・地元の人移住者も「生まれてよかった、暮らしてよかった」と思える県NO.1に ・移住者と県民との交流が盛んに行われる必要がある
				環境	・自然環境の良さを生かしたエネルギー面などでも先進的な取り組み
				社会基盤	・地方からのアクセスがしやすい県 ・電線の地中化工事など景観を活かした街づくり、道づくりを進める ・公共交通機関の不足の解消
				健康・福祉	・老後住みやすい県
				子育て	・子育て世帯が積極的に移住できるよう子育て支援の充実
毎月勤労統計調査員事務打ち合わせ <企画振興部>	H29.1.19	調査員	8	教育	・長野県をもう一度教育県にしてほしい ・大学設立は良いこと
				子育て	・働きたいが、子どもを預けられず働けないという声がある。待機児童問題を解消してほしい
県民協働有識者会議 <県民文化部>	H29.1.13	会議委員	5	地域づくり	・趣味も含めて楽しい地域にすることが必要 ・そこに住んでいることがその人にとって幸せであるということが行政も民間も目指していく地域像 ・人口が減っても楽しく過ごせるということをアピールしてはどうか ・世界一長寿であることよりも、年をとっても住みやすい環境で子供たちにとっても希望を持てる社会であることが大切 ・移住促進に足りないのは、医療、職、教育 ・行政で行き詰っている部分をもっと民間に開いてほしいし、そのための人材育成も考えてほしい
				健康・福祉	・シニア世代が社会とつながり、自分が生きているという実感を持てるような社会